

### 子どもの育ち・子育て支援を一緒に考える会



市では、子育て支援計画づくりに向けて、市民の皆さんと計画策定委員の意見交換会を開催します。

当日は、計画策定委員長の森田明美さんの講演後、「子育て」「子育て」「青少年の健全育成」等子どもに関するいろいろなことについて意見交換をしながら、問題点や課題を一緒に考えます。

皆さんの参加をお待ちしています。

とき・ところ 9月28日(土)田無小体育館 10月20日(日)保谷小体育館

午後1時～3時(入場自由)

講演 「西東京市子どもの生活と家庭の実態・意向調査」から見た西東京市の「子育て」「子育て」について 講師 森田明美さん(東洋大学社会学部教授)

申込 当日直接会場へ

託児申込 無料。5か月～就学前の子ども・10人まで(申込順)。各開催日の4日前までに電話で子育て支援課へ

子育て支援課(田無内線1521)

### 青少年問題協議会の中間答申が出されました

青少年問題協議会では、昨年10月22日に発足して以来、青少年(主に中学生・高校生)の健全育成に関する実現可能な事業・実現すべき事業を答申するため、定例会を6回、専門部会を6回開催し、各専門分野から選ばれた委員の方々が調査・研究し、議論してきました。

8月30日(金)には、平成15年度に向けた中間答申が、市長に提出されました。この答申は、「活動の場と居場所の提供」「活動する団体への支援」「指導者の養成」「情報の提供」「むすび」の5項目から成り、今年3月に報告された「西東京市子どもの生活と家庭の実態意向調査報告書」のデータを参考に、問題となつていいる施設、制度等を取り上げ、解決する方針を述べています。

今後、青少年問題協議会では、平成15年3月までに、本答申を提出するため、議論を重ね、西東京市が「若者の育つまち」となる答申が出せるよう努力していきます。

子育て支援課(田無内線1521)

### 小学校給食調理業務民間委託保護者説明会

市では、行財政改革大綱に基づき、給食調理業務を民間に委託しています。9月から新たに栄小学校で民間委託が始まり、現在6つの小学校で行われています。今後も給食調理業務の委託を推進していくため、左記のとおり説明会を開催します。保護者の皆さんの参加をお願いします。

説明会	日程	時間
田無小学校	10月2日(水)	午後3時～4時
谷戸小学校	10月8日(火)	
向台小学校	10月9日(水)	
芝久保小学校	10月18日(金)	
谷戸第二小学校	10月21日(月)	
柳沢小学校	10月23日(水)	
上向台小学校	10月28日(月)	
けやき小学校	10月31日(木)	

学務課(保谷内線2624、2625)

### 小学校就学時健康診断

平成15年4月に小学校へ入学されるお子さんの健康診断を各小学校で行います。通知書は、入学予定者の保護者あてに発送します。

入学予定者 平成8年4月2日～平成9年4月1日に生まれた方

次に該当する方は学務課へご連絡してください。

10月9日(水)までに通知書が届かない方

都合により当日健康診断を欠席される方(他校での受診が可能です)

平成15年4月までに引越しの予定がある方

当日の持ち物 「就学時健康診断」の保護者あて通知書(必要事項を記入のうえお持ちください)、上ばき、はき物をいれる袋

日程 住吉小:10月15日、向台小:10月17日、谷戸小:10月18日、保谷小:10月22日、碧山小:10月23日、保谷第二小:10月24日、田無小:10月25日、けやき小:10月29日、東小:10月30日、泉小:10月31日、上向台小:11月1日、東伏見小:11月5日、栄小:11月6日、谷戸第二小:11月7日、保谷第一小:11月19日、本町小:11月20日、中原小:11月21日、柳沢小:11月22日、芝久保小:11月29日

学務課(保谷内線2624)

### 総合計画策定に向けて

# 市民ワークショップの概要を 子どもワークショップのお知らせします

総合計画策定に向けて、より多くの市民の皆さんのご意見をお聞きするため、市民ワークショップおよび子どもワークショップを開催しました。その概要をお知らせします。

企画課(田無内線1122)

#### 市民ワークショップ

8月4日(日)、コールドフィールドで総合計画策定審議会部会の主催による市民ワークショップが開催されました。当日は、猛暑にもかかわらず、31人の市民の皆さんに参加していただきました。

市民ワークショップでは、各テーマに分かれ、活発な意見交換がされました。各テーマは次のとおりです。

A(福祉のまち)・・・「住みなれた地域でいきいきとくらすために」

B(環境にやさしいまち)・・・「緑地を大切にしながら、住みよいまちをつくるために」

C(若者を育てるまち)・・・「子どもや青少年の居場所をまちの中につくるために」

D(安全で快適なまち)・・・「まち、駅道を快適にするために」

E(産業が育つまち)・・・「地元の商店街を活性化するために」

F(市民参加のまち)・・・「市民や企業のパワーをまちづくりに活かすために」

近隣、地域のコミュニティを形成するために

総合計画策定審議会部会では、市民ワークショップ、子どもワークショップで出された意見を踏まえ、8月8日・22日の両日、部会としての考え方を検討しました。

検討内容の一部をご紹介します。

福祉のまち:高齢者・障害者が住みなれた地域で生き生きと暮らしているために行政・市民が役割を担い、サービスの充実を図る。健康を保つためには予防が重要(住環境の整備や生きがいづく

り支援)等

環境にやさしいまち:緑の保全、ヒートアイランド化の問題、幹線道路のあり方、環境問題、防災上の役割、緑のベルト等の視点から等

若者を育てるまち:子育ては保護者だけが担うのではなく、地域全体で若者が育つ環境を作る必要性、市民・地域と学校の連携等

安全で快適なまち:幹線道路と生活道路の機能の明確化、放置自転車対策の検討、地域での防災のためのコミュニティ形成の必要性等

産業が育つまち:今ある農地(「緑」の保全のための社会のしくみづくりの必要性、地元商店街の活性化、スモールビジネスの立ち上げ等

市民参加のまち:多様な市民参加のしくみづくり、情報提供手段の確立、コミュニティの形成等

#### 子どもワークショップ

市内在住・在学の小学校5・6年生と中学生の計21人が、7月22日の市内まち探検、翌23日の子どもワークショップ、そして8月1日発表会に参加しました。子どもワークショップでは、4班に分かれて弱者体験(車椅子などを使用)をしながら行ったまち探検をもとに、各班ごとに重点ポイントを選び、西東京市の「いいところ」「直してほしいところ」「こんなつたらしいな」を考えました。重点ポイントには、高齢者福祉施設、はなバスがあげられ、次のような意見が出されました。

駅:エレベーター・エスカレーターや階段手すりがあつていい、エレベーター・階段が狭い。

高齢者福祉施設:やさしい人がたくさんいる、もっと交流できるようにしてほしい。

はなバス:車椅子の人も乗れる。ほかにモルートを増や



子どもワークショップ発表会で

してほしい。

「こんな学校へ行きたい」では、先生が選べる学校もつとパソコンを増やしてほしい、行事も選べる学校などの意見が出されました。

「10年後の西東京市へ」では、お年寄りにやさしいまち、誰でも明るくみんなで話せるまち、自然がいっぱいのまち、もっと老人と若者が仲良く暮らせるまち、自慢できるまち、弱者の視点から見た住み良いまち、明るく楽しく助け合えるまち、みんなの理想にあつたまち、やさしい人たちがたくさん増えるように子どもたちの視点からさまざまな貴重な意見を頂きました。

市民ワークショップ、子どもワークショップの詳細については、総合計画策定審議会部会からの報告書として、9月27日から情報公開コーナー(田無・保谷両庁舎)図書館に設置しますので、ご覧ください。

#### これからの予定

総合計画策定審議会では、総合計画策定審議会部会からの報告を受け、本格的に基本構想案の検討に入る予定です。次回の審議会は、9月26日(木)午後6時から田無庁舎3階庁議室で開催されます。